



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-309/2029年5月16日
[技術の名称]	環境配慮型改質アスファルト複合防水工法「アスリード工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	日新工業株式会社

[技術概要]

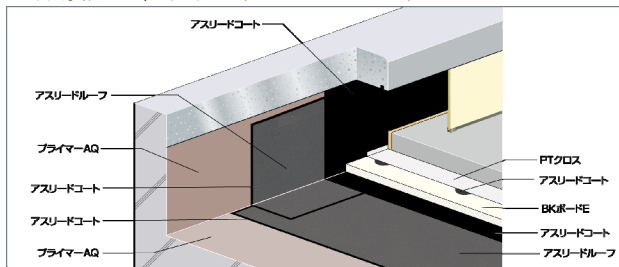
本工法は、高い塗膜性能を有する低煙・低臭タイプの加熱型改質アスファルト塗膜防水材料と高い抗張積を有する高機能改質アスファルトルーフィングを組み合わせ、従来よりも施工が省力化された環境配慮型改質アスファルト複合防水工法である。

本工法の保護密着仕様及び露出密着仕様においては、高い塗膜性能を有する低煙・低臭タイプの加熱型改質アスファルト塗膜防水材料と高い抗張積を有する改質アスファルトルーフィング1層を組み合わせ、露出絶縁仕様においては、平場部1層目に常温施工の部分粘着層付改質アスファルトルーフィングを用い、2層目ルーフィング類に加熱型改質アスファルト塗膜防水材料を用いて積層する。

また、張り付けに加熱型改質アスファルト塗膜防水材料を用いることで立上り防水層にズレ垂れが生じないため、防水層端末に押え金物の必要なくなる。

本工法は、在来の工法であるアスファルト防水熱工法の屋根保護防水工法、屋根保護防水断熱工法、屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法、屋根露出防水密着工法、屋内防水密着工法に対応する技術である。

■保護防水仕様例 (F A L I - 1)



平場部

工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマーAQ	0.2
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2
3	アスリードコート塗布	1.5
4	BKボードE	
5	PTクロス アスリードコート点付け	0.2

立上り部

工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	プライマーAQ	0.2
2	アスリードルーフ アスリードコート流し張り	1.2
3	アスリードコート塗布	1.5

[開発の趣旨]

在来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成する工法である。このアスファルト防水熱工法には、水密性の信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) ルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多い事による作業負担の問題。
- (2) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙・臭いによる環境上の問題。
- (3) 立上り防水層のズレ垂れ防止として、押え金物が必要である。

本工法は、高い塗膜性能を有する低煙・低臭タイプの加熱型改質アスファルト塗膜防水材料と高い抗張積を有する改質アスファルトルーフィング若しくは常温施工の部分粘着層付改質アスファルトルーフィングを組み合わせることで、従来工法より作業工程数、押え金物の工程を削減し、施工時における環境影響の軽減を図ることを目的として開発したものである。

[開発目標及び審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) 在来アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有しているものと判断される。
- (2) 在来アスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数、押え金物設置などの作業負担や施工時における環境負荷を軽減されるものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

日新工業株式会社

営業統括部企画広報課 TEL:03-3882-2613

技術紹介サイト

<https://www.nisshinkogyo.co.jp/product/detail/as-lead/>

